

地域の話題 赤平市

赤平ラブリバー推進協会  
アイラブ・ロードあかびら推進協会 創立20周年事業

「Clean up あかびら」

まちづくりの基本は、ゴミ拾いから

2013年の5月30日(ゴミゼロの日)に空知管内赤平市で「Clean up あかびら～高橋尚子さんがあかびらにやって来る！」と銘打ったイベントが開催された。

当日は雨天にもかかわらず、大人から子どもまで多くの市民が参加。イベントの実行委員長として尽力された植村正志氏にお話を伺った。



植村正志 実行委員長

**Q** 「赤平ラブリバー推進協会」と「アイラブ・ロードあかびら推進協会」はどのような団体ですか？ また、これまでの活動内容を教えてください。

**A** 「赤平ラブリバー推進協会」は1992年、町内を流れる空知川を中心としたまちづくりを目指す市民団体として設立されました。メンバーは現在約150名で、河川敷の清掃や草刈り、植栽、河畔利用のイベント開催などを行い、市民の憩いの場となる空知川を創造する活動を続けています。「アイラブ・ロードあかびら推進協会」は1993年、赤平バイパスの開通をきっかけに、道路の愛護活動を行うとともに生活空間としての利用を図り、住みよい環境をつくることを目的に設立されました。メンバーは現在約180名で、国道敷地内の清掃や草取り、植栽、道路環境の整備・美化などに取り組んでいます。交通安全の啓蒙キャンペーンも毎年行っています。

どちらの団体も市民が中心となり、まちに欠かせない川や道路を大切に、まちづくりの活動を続けてきました。

今回のイベントは、両協会の創立20周年を記念して合同で開催することにいたしました。



▲「Clean up あかびら」告知のチラシ

**Q** イベント開催にいたるまで特に苦労された点や、印象に残っていることをお聞かせください。また、金メダリストの高橋尚子さんをお招きしたのは当初からの計画だったのですか？

**A** 二つの協会はふだんから連携した活動をしているので、合同イベントの開催もスムーズに協力することができました。ただ、いつもより大規模な赤平市全体を巻き込んだイベントですから、地元企業、一般市民のボランティアの方々をはじめ自衛隊や警察、消防の皆さん、市外からも多くの方々の協力を得て実行することができました。

参加者がどれくらい集まるのか不安な面もありましたが、ポスターやチラシを配布し、手分けをして積極的なPRに力を入れました。高橋尚子さんに来ていただこうと思ったのは、ごく最初の段階からです。高橋さんが各地で活躍されているのは以前から知っていましたが、他のイベントで高橋さんをお見かけする機会があり、その明るさや人柄にすっかり感激しまして、ぜひ赤平にも！と思った次第です。そして、実際に来ていただいて本当によかったと思います。

高橋さんが参加者とゴミ拾いをした当日の午前、あいにくの土砂降りでしたが、ずっと笑顔を絶やさず、楽しいお話をたくさんしていただきました。市内の小中学校も訪問していただき、子どもたちも大喜びで、大人も子どもも改めてQちゃんファンになりました。



**Q** イベントは盛りだくさんのスケジュールだったようです。前日や当日の様子を教えてください。

**A** 5月29日に前夜祭として「ゴミ拾い侍!と高橋尚子さんを囲んで」親睦・交流の会を開催しました。



◀ スピーチをする  
高橋尚子さん



▲ 「一世一代時代組」  
による「ゴミ拾い侍!」  
のパフォーマンス

5月30日の当日は、早朝から各町内会や学校が参加してゴミ拾いをスタートしました。河川敷では植樹も行いました。昼食会には赤平名物ががんがん鍋が参加者全員にふるまわれ、雨で冷えた体を温めることができました。午後になると雨も上がり、ゴミ拾い侍!のパフォーマンスに続いて高橋さんのトークショーを開催。まさに、まちをあげての充実した行事となりました。



▲ オープニングセレモニー



▲ 高橋さんによる「ゴミ拾い宣言」



▲ 雨にも負けず一斉  
にゴミ拾いを開始

◀ 記念植樹も実施



▲ 高橋さんは市内10カ所の小中学校  
を訪問

▶ 子どもたちから感謝の花束贈呈

▶ 植村実行委員長は「スマイル・アフリカ・プロジェクト」への参加とお手伝いを約束



▲ 高橋さんのトークショーは「走って、歩いて、拾って、まちを愛しましょう。」



午後2時からは「北のみち普請を育てる会」による記念フォーラムが開催され、日頃から地域で活躍している5団体をパネラーに迎え、まちづくりについてのさまざまな意見交換が行われました。たいへん興味深い話を聞くことができました。



**Q** 開催を終えての感想や今後の抱負などをぜひお聞かせください。

**A** 私たちの協会は20年前、赤平のまちが大きく変わろうとしていた時にできました。炭鉱閉山やバイパスの開通などが重なり、まちに元気がなくなってしまうのではないかという危機感もあり、われわれができることをやろう、という気持ちでした。

その後は道路と川を中心とした美化活動をはじめ、さまざまな活動をしてきました。車イスでも利用できるパークゴルフ場を作るなど、新しい河川敷の利用を実現することもできました。

今回のイベントは、これまでの活動の集大成でもあり、さらなる可能性を拓くものだと感じています。また多くの方々のご協力ご参加をいただき、心より感謝いたします。この20周年を一つのきっかけとして、これからも時代にふさわしいスタンスで、地域の方々満足してボランティア活動ができるようにしてゆきたいと思っています。

「アイラブ・ロードあかびら推進協会」  
道路功労者の大臣表彰を受賞！



「アイラブ・ロードあかびら推進協会」は平成25年度、道路交通の安全と正しい利用の促進、美化・清掃活動に特に貢献した民間団体等に贈られる「道路功労者国土交通大臣表彰」を受賞。2013年8月28日(水)、赤平市幌岡町の徳川城下・フラワーヒルズ広場にて表彰伝達式が行われ、所管する北海道開発局札幌開発建設部の本田幸一部長より植村正志協会長へ感謝状が贈られた。